＼ BtoB企業向け ／

CMS比較ガイド

サービスサイト／メディアサイト編

BtoBマーケするなら

ferret One

CMSの役割

・CMSとは

CMS（コンテンツマネジメントシステム）は、Webサイトの構築を手助けし、
サイト内のコンテンツを追加・更新を一元管理できるシステムです。

・なぜ必要？ CMSを導入するメリット

❶ コーディングの知識がなくても自分でサイトを管理・更新できる

❷ 情報の鮮度を保ちやすい

❸ 最低限のSEO対策済みのサイトを構築できる

❹ スマホ向けサイトも同時に作成可能

❺ サイト運用を効率化できる

© 2022 Basic inc.

自社に合うCMSの選び方

CMSを選ぶ前に、Webサイトの**目的・目標・サイトタイプ**を設定しましょう。

Webサイトの
目的・目標を設定する

↓

目的に適した
サイトタイプを選択する

↓

サイトタイプに適した
CMSを選択する

- **目的とは**

「閲覧数を増やす」や「お問い合わせ数を増やす」など、サイトで得たい成果のことです。

- **目標とは**

目的を達成したかどうかを判断するための数字です。例えば「月のお問い合わせ数が5件以上」「毎月のサイトコスト20万円削減」など。大きく分けて増加と削減の2つに分類されます。

- **サイトタイプとは**

サイトの種類のことです。叶えたい目的別に最適なサイトタイプがあり、CMS選定のポイントや必要なCMS機能が異なります。

© 2022 Basic inc.

CMSの機能一覧

		ferret One	Word press	Movable Type	ペライチ	Drupal	Web Release	Power CMS	RCMS	NOREN	Jimdo	Wix	BiNDup
1	CMS機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	フォーム作成	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	△
3	リード管理	○	△	△	×	×	×	○	×	×	×	○	△
4	メール配信	○	△	×	△	△	×	○	○	×	×	○	△
5	ステップメール	○	△	×	△	△	×	×	×	×	×	×	×
6	アクセス解析	○	△	×	△	△	×	○	×	×	△	○	△
7	SEO順位チェック	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×
8	ユーザー行動履歴	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
9	自動バージョン UP	○	×	△	○	×	○	×	○	△	○	○	○
10	テクニカルサポート	○	×	○	△	○	○	△	○	○	△	△	○
11	マーケ施策設計	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
12	ログイン機能	×	△	△	×	○	×	△	○	○	×	○	×
13	EC機能	×	△	△	△	○	○	×	○	△	○	○	○

△についての補足情報

Wordpress
- リード管理、メール配信、ステップメール配信、アクセス解析、ログイン機能、EC機能は、プラグインを利用することで可能

MovableType
- リード管理は、プラグインを利用することで可能
- 問い合わせはメールのみ
- Cloud版であれば自動アップデートに対応

Drupal
- フォーム作成はコーディング必要
- Simplenewsモジュールを利用すると、メールマガジンやステップメール配信に対応

Power CMS
- テクニカルサポートは各代理店が行うことを想定
- ログイン機能は、Professional エディション以上を契約した人のみ利用可能

NOREN
- バージョンを過去のものに戻すことも可能
- EC機能は外部連携ツールを利用する際に使える

ペライチ
- フォーム作成機能、メール配信機能、ステップメール機能、EC機能は、契約プランによって利用可能
- ページ作成は最大10ページまで
- テクニカルサポートは、全国200名のサポーター主催セミナーやヘルプのみ

Jimdo
- アクセス解析は簡易的なもののみ
- 問い合わせはメールのみ

Wix
- 問い合わせはメールのみ。DIYサービスなので、基本的に個別でのサポート等は行っていない

BiNDup
- フォーム・メールは、連携機能「SmoothContract」を利用することで可能
- アクセス解析は、連携機能「SmoothGrow」を利用することで可

© 2020 Basic inc.

※ 関連ツールの連携や、契約プランによって機能利用が可能なものは△としています。

Webサイトの目的・目標を設定しましょう！

Webサイトの目的

- ☐ 会社の情報を伝えたい
- ☐ 会社の認知度を高めたい
- ☐ 特定の商品のブランディング
- ☐ 特定の商品の情報を伝えたい
- ☐ 短期的に販売・集客をしたい
- ☐ 中長期的な販売・集客をしたい
- ☐ 採用を強化したい
- ☐ 採用において認知度を高めたい
- ☐ その他（　　）

Webサイトの目標（増加）

- ☐ 閲覧数　（　　PV）
- ☐ 来訪者数　（　　UU）
- ☐ リード獲得数（　　CV）
- ☐ お問い合わせ数（　CV →　CV ）※　ヶ月以内

Webサイトの目標（削減）

- ☐ 外注費　（　　円）
- ☐ 人件費　（　　円）
- ☐ 時間　（　　時間）

© 2022 Basic inc.

サイトタイプ別CMS

		構築実績が多いCMSの例		
1	**コーポレートサイト向き** 主な運用目的：会社紹介、社員採用強化	・Wordpress ・Movable Type ・Drupal	・NOREN ・RCMS	・Power CMS ・WebRelease
2	**サービスサイト向き** 主な運用目的：見込み顧客獲得	ferret One	・Wordpress	
3	**オウンドメディア向き** 主な運用目的：社員採用強化（1~2年スパン） 見込み顧客獲得（1~2年スパン）		・はてなブログMedia ・Wordpress	
4	**ECサイト向き** 主な運用目的：販売業務効率化	・Shopify ・EC-CUBE ・ecbeing	・MakeShop ・Magento	
5	**その他**（10ページ以下の小規模サイト） 主な運用目的：会社/店舗紹介、キャンペーン	・Wordpress ・Jimdo	・ペライチ ・Wix	

© 2022 Basic inc.

サイトタイプによって運用の特徴が異なります

運用性 高

マーケティング要素 高

採用サイト

目的 採用エントリーの増加

- 企業の思いや情報を魅力的に伝える
- ブランディング
- 生産性向上

サービスサイト

目的 リード獲得数増加

- 特定の商品の情報を魅力的に伝える
- 集客 / CVR
- リード獲得

コーポレートサイト

目的 会社の情報を伝えたい

- 企業情報を的確に伝える
- ブランディング

メディアサイト

目的 サイト集客数（Organic）の増加

- 中長期的なWeb集客戦略
- 集客
- Organic流入数増

© 2022 Basic inc.

サービスサイト:CMSの選び方

・サービスサイトとは

特定の商品やサービスに関する情報を掲載したサイトを、「サービスサイト」と呼びます。サービスサイトの目的は、見込み顧客の獲得と育成です。

そのため、顧客を惹き付けるためのキャッチコピーの改善や実績記事の追加、導線の改善など、常に改善が求められるサイトです。最も一般的なKPIは、新規リード獲得数、問い合わせ数です。

コーポレートサイトが管理部門管轄であるケースが多いのに対し、サービスサイトはマーケティング部や営業部などが運営を担います。

必要な情報

- サービス/製品紹介
- 選ばれる理由
- 導入事例
- 料金
- セミナー/ブログ
- よくある質問
- 資料ダウンロードページ
- ニュース
- 会社概要

© 2022 Basic inc.

サービスサイト：CMSの選び方

メディアサイトの
実績が豊富なCMS

ferret One

・Wordpress

・サービスサイトのCMS選定のポイント

❶ 操作性

サービスサイトでは、キャッチコピーのブラッシュアップや導線の改善などをスピーディに行うことが重要です。コーポレートサイト以上にCMSの操作感が直感的かどうかを必ず確認しましょう。また、リード育成～顧客管理までを一気通貫で管理できるよう、導入済みのMAやSFAと連携できるかも要チェックです。

❷ マーケティングサポートの有無

やるべき施策が明確になっていなければ、どんなに優れたCMSがあっても、運用は滞ってしまいます。マーケティング施策の相談も可能か、確認することをおすすめします。

© 2020 Basic inc.

メディアサイト:CMSの選び方

・メディアサイトとは

メディアサイトの目的は、“中長期的”な情報発信や見込み顧客の獲得・育成です。また、特定サービスの集客だけでなく、採用ブランディングに使われることもあるため、運営部署は、目的に応じて異なります。

メディア運用は、潜在層にアプローチできる点や、コンテンツが会社の資産になり中長期的な費用対効果が高いというメリットがあります。一方で、即効性はなく、運用時に手間と時間がかかるというデメリットもありますので、いまメディアを立ち上げる運営体制が整っているかを見極める必要があります。

主なKPIは、PV数、訪問者数、リード数、新規会員登録者数 です。

必要な情報

- ・ノウハウ
- ・インタビュー
- ・イベントレポート
- ・最近のトレンド
- ・用語解説

© 2022 Basic inc.

メディアサイト：CMSの選び方

メディアサイトの
実績が豊富なCMS

ferret One

・はてなブログCMS

・Wordpress

・メディアサイトのCMS選定のポイント

❶ 操作性

・テキストの編集機能だけでなく、目次作成機能や関連記事の表示機能などの機能があると効率的にコンテンツを追加していくことができます。また、執筆したページのパフォーマンスを検証するため、アクセス解析機能もあると便利です。

❷ 必要な機能の有無

・会員登録・課金システムを設ける場合には、
ログイン機能と決済機能の有無をご確認ください。
・また、内部対策の観点から、HTMLの編集をしたい場　合には各CMSが対応可能かご確認ください。

© 2022 Basic inc.

BtoBマーケするなら
ferret One

ferret One CMSのご紹介

© 2022 Basic inc.

ferret One CMSとは？

BtoBサイトの運用に特化したCMSです。

BtoBサイト・コンテンツ作りに
必要な機能と生産性の高い運用環境を提供します。

Download

Blog

Form

Saminer

© 2022 Basic inc.

BtoBサイトに必要なページが簡単に作れます

基本サイト（問い合わせにつなぐために必要なページ）

1	TOP		
2	サービスとは		
3	選ばれる理由		
4	導入事例（一覧）	5	導入事例（詳細）
6	セミナー（一覧）	7	セミナー（詳細）
8	ブログ（一覧）	9	ブログ（詳細）
10	お知らせ（一覧）	11	お知らせ（詳細）
12	よくあるご質問		
13	お問い合わせ	-	お問い合わせ完了
14	資料ダウンロード	-	資料ダウンロード完了
15	会社概要	-	プライバシーポリシー

基本ワイヤー（問い合わせにつながりやすい構成）

＼ Point ／

科学されたテンプレートなので
迷うことなくスムーズに構築が可能

© 2022 Basic inc.

BtoBサイトでよく使われるページの事例

このようなページも **簡単CMSでどなたでも構築可能** です。

導入事例ページ

セミナーページ

© 2022 Basic inc.

ferret One CMSの特徴

ferret Oneの”先回り型設計”の特徴

1. 簡単CMSで
   BtoBサイト・LPに必要な表現、レイアウト
2. 直感的に使えて学習コストが低い
3. 制作コストの圧縮、更新スピードの向上
4. その他
   HOTリード・メール・顧客管理等必要機能
5. 契約者様限定の
   テクニカルサポートの手厚いサポートが付帯
   リード獲得・顧客育成に向けたウェビナー等

導入メリット

- **属人化せず** に誰でも作ることができます
- **正社員以外の方でも** 運用可能です
- **圧倒的に高い費用対効果** が得られます
- **機能拡張** することができます
- **施策を前に進める** ことができます

© 2022 Basic inc.

どのようなお客様にご利用いただいているか。

ferretOne CMSは

”BtoBリード獲得・育成用のサイト構築、運用”

をご検討の方向けのサービスです。

ご採用時の課題とお困りごと（組み合わせもあります）

1位　BtoBマーケを実施したいが社内に専門人材がいない

2位　外注に頼った運用体制を脱却したい

3位　サイト更新スピードを高めたい

4位　お問い合わせを獲得できるサイトにしたい

5位　利用中のMA、CRMと接続したい

© 2022 Basic inc.

導入社例

ferret One CMSは **運用のプロ**にも**初めての方**にも選ばれています。

BtoBマーケティング運用のプロ
（運用効率をあげたい / 専門人材を使いたくない）

- cookpad
- LIFULL
- MEDLEY
- Link and Motivation Group
- Givery
- KAKEHASHI
- JX通信社
- SMARTCAMP
- 識学 SHIKIGAKU

初めての方々、外注に依頼していた
（自分たちで運用したい / 外注に頼った体制から変えたい）

- よろこびがつなぐ世界へ KIRIN
- フジテレビ for Business
- SB Gift
- CTC Challenging Tomorrow's Changes
- アピ株式会社 API
- TOYOSHIMA
- 廣告社株式會社 KOKOKUSHA K.K.
- 竹田印刷株式会社 TAKEDA PRINTING CO.,LTD.
- 荒川化学工業株式会社 ARAKAWA CHEMICAL INDUSTRIES, LTD.

＼ Point ／

どちらの導入企業においても共通している課題

運用効率のUP・属人化しない運用環境・サイト更新のコスト削減

© 2022 Basic inc.

運用更新性に大きな差が出ることで成果も大きく変わります

導入前の状態

- 制作会社にWebサイト管理を依頼
- 毎月20〜30万の改修費
- 修正対応が2〜4週間後
- メール配信時は都度CSVで出力

ferret One導入後

- 既存サイトをそのまま乗せ換え
- 社内で修正、更新が可能に
- 毎月10万円のツール費＋人件費
- 修正対応は即日〜3日以内
- ferret One経由でメール配信

ユニークユーザー数3倍・リード数10倍・問い合わせ3倍・商談数2倍・受注数2倍

ferretOne CMSが選ばれる理由　第１位

どのツールよりも”圧倒的な使い心地のよさ”で選ばれています。

ページの制作や更新がものすごく楽になり、「こんなに簡単でいいの？」と思いながら作業しています。初めて画面を見たときから**「マニュアルレスでも触れそうだ」と思いましたし、「これなら絶対うまく使える」と確信**していました。

- PowerPointで構成案を作るよりも、最初からferret Oneで作る方がページを作るのが早いです。
- 事前に説明していただいた通りで、初心者でも感覚的に使いやすいUIだと思います。
- 正直「本当にそんなに簡単に更新できるのだろうか」という懸念はありました。そういう謳い文句でも、実際にはhtmlやcssを書かなくてはいけないツールもあるからです。しかし、実際にferret Oneを使ってみてその懸念はすぐに払拭されました。デザインテンプレートの自由度も高くてありがたいです。

© 2022 Basic inc.

圧倒的な使い心地の良さ

ferret One

WordPress

ferretOne CMSが選ばれる理由　第２位

作って終わりではなく
”その後のマーケティング活用の機能”が充実していること

ferret Oneが「Webマーケティング」ができるツールであることにも価値を感じていました。Web制作会社にサイト制作を依頼した場合は、サイトが完成したら終わりですが、その後のマーケティングまでできないと意味がありません。ferret Oneは、サイトが作れる**CMS機能以外にも、Webマーケティングを行うためのツールがそろっていることが魅力**でした。

- PardotやSalesforceを使って営業と連携をしているので、ferret Oneと外部ツールが連携しやすいのも便利
- 確実に使う機能だけ追加することができる
- 顧客管理も初動時の設定は不要
- マーケ機能も直感的でわかりやすい

© 2022 Basic inc.

ferret Oneで一元管理(All in one)

個々に運用した場合： 計10のツール が必要

	認知	検討	獲得	追客	商談	受注
施策	SEO コンテンツマーケ テーマ別LP 広告配信 名刺情報メルマガ	LPO 流入・行動分析	広告効果測定 流入経路分析 キャンペーン管理 EFO　LPO	自社セミナー EFO LPO MA連携管理	流入経路分析	CRM連携管理
ツール	WordPress LP制作（外注） メール配信ツール 広告効果測定ツール Google Analytics 名刺管理ツール	WordPress Google Analytics LPOツール	WordPress 広告効果測定ツール Google Analytics フォ 独自開発	WordPress Google Analytics フォームツール ールツール 独自開発	Google Analytics チャット連携 CRMツール連携	CRMツール連携

複数ツール導入による
教育コストの削減を実現

BtoBマーケするなら
ferret One

© 2022 Basic Inc.

Appendix

コーポレートサイト／ECサイト／小規模サイト編

© 2022 Basic inc.

サイトタイプ別 CMSの選び方 ＜コーポレートサイト編＞

・コーポレートサイトとは

コーポレートサイトの目的は、会社紹介や事業紹介です。企業の基本的な情報を掲載し、自社のことを知ってもらう、いわば「会社の顔」となる存在です。

取引先の企業だけでなく、株主、就職希望者、パートナー企業などさまざまな人が閲覧する可能性があるため、集客よりも「だれが見ても・会社情報を正しく伝わること」が求められます。そのため、お知らせやIR情報など、会社に関わる情報を最新状態で維持できるかが重要です。

また多くの場合、コーポレート部門の広報や総務が運営を担います。わかりやすいKPIが無いと言われることが多いですが、例として、採用申込者数やリリースページの閲覧数、IR資料ダウンロード数などが考えられます。

必要な情報

- 企業情報
- 事業内容
- 採用情報
- IR情報
- CSR情報
- お知らせ（プレスリリース）
- お問い合わせ

© 2022 Basic inc.

サイトタイプ別 CMSの選び方 ＜コーポレートサイト編＞

コーポレートサイトの実績が豊富なCMS

- Wordpress
- Movable Type
- NOREN
- RCMS
- Power CMS
- WebRelease
- Drupal

・コーポレートサイトのCMS選定のポイント

❶ 操作性

プレスリリースの更新や、会社情報などの情報を常に最新の情報にするため、最低限のテキスト編集・画像挿入ができることが必要です。実際に各CMSのデモ画面をみて、「これなら自分でも使いやすそう」と思えるものを選びましょう。ただし積極的な集客やサイト改善は必要ないので、サイト編集のカスタム性にこだわる必要はありません。

❷ 必要な機能の有無

・CSR情報やIR情報も含めた大規模サイト運用の場合には、サイトのコンテンツを効率的に管理できる、データベース機能が便利です。また、国外との取引がある場合には、翻訳機能を実装するかも確認しましょう。

© 2022 Basic inc.

サイトタイプ別 CMSの選び方 ＜コーポレートサイト編＞

		Word press	Movable Type	Drupal	Web Release	Power CMS	RCMS	NOREN
1	CMS機能	○	○	○	○	○	○	○
2	フォーム作成	○	○	△	○	○	○	○
3	リード管理	△	△	×	×	○	×	×
4	メール配信	△	×	△	×	○	○	×
5	ステップメール	△	×	△	×	×	×	×
6	アクセス解析	△	×	△	×	○	×	×
7	SEO順位チェック	×	×	×	×	×	×	×
8	ユーザー行動履歴	×	×	×	×	×	×	×
9	自動バージョン UP	×	△	×	○	×	○	△
10	テクニカルサポート	×	○	○	○	△	○	○
11	マーケ施策設計	×	×	×	×	×	×	×
12	ログイン機能	△	△	○	×	△	○	○
13	EC機能	△	△	○	○	×	○	△

※ 関連ツールの連携や、契約プランによって機能利用が可能なものは△としています。

△についての補足情報

Wordpress
- リード管理、メール配信、ステップメール配信、アクセス解析、ログイン機能、EC機能は、プラグインを利用することで可能

MovableType
- リード管理は、プラグインを利用することで可能
- 問い合わせはメールのみ
- Cloud版であれば自動アップデートに対応

Drupal
- フォーム作成はコーディング必要
- Simplenewsモジュールを利用すると、メールマガジンやステップメール配信に対応

Power CMS
- テクニカルサポートは各代理店が行うことを想定
- ログイン機能は、Professional エディション以上を契約した人のみ利用可能

NOREN
- バージョンを過去のものに戻すことも可能
- EC機能は外部連携ツールを利用する際に使える

© 2020 Basic inc.

サイトタイプ別 CMSの選び方 ＜ECサイト編＞

・ECサイトとは

BtoBのECサイトは、自社サービスの販売や受注業務の効率化を目的としています。例えば、アスクル、モノタロウ、印刷発注サイト、製造業向け部品発注サイトなどがあります。

主なKPIは、年間購入件数や売上 金額などです。

ECサイトを構築する際には、他サイト以上に開発・運用コストがかかります。せっかく多額の投資をしたのに、誰にも使われていないということが無いよう、立ち上げる目的や目標を明確に定めることができているか確認しましょう。また、ECサイトは、顧客自身に商品を選ぶ知識があることが大前提です。顧客の課題をヒアリングして営業が提案をする商材の場合は、ECサイトが不向きである可能性が高いです。

必要な情報

- ・商品一覧
- ・特集一覧
- ・マイページ
- ・商品検索
- ・ご利用方法
- ・よくある質問
- ・お問い合わせ

© 2022 Basic inc.

サイトタイプ別 CMSの選び方 ＜ECサイト編＞

**メディアサイトの
実績が豊富なCMS**

- Shopify
- EC-CUBE
- ecbeing
- MakeShop
- Magento

・ECサイトのCMS選定のポイント

❶ サポート体制

オープンソースのCMSは無料で使うことができ、カスタマイズ性は高いですが、その分操作に慣れる時間が必要です。すぐに質問ができるよう、サポートデスクやサポートコミュニティ等の取り組みがあるかどうか確認しましょう。

❷ 必要な機能の有無

決済機能はもちろん、自動見積もり機能、取引先別価格管理機能があるかを確認しましょう。また個人情報や決済情報を取り扱うことになるため、高度なセキュリティ対策があるかどうかもチェックが必要です。

© 2022 Basic inc.

サイトタイプ別 CMSの選び方 ＜10p以下の小規模サイト編＞

**小規模サイトの
実績が豊富なCMS**

- Jimdo
- Wix
- ペライチ
- BiNDup
- Wordpress

・用途

これらは、無料～低価格帯（月額3,000円まで）のCMSです。コストを抑えて、テンプレートを用いて手軽にサイト構築をすることに長けています。一方で、作成ページ数や機能面での制限があるため、簡易的なコーポレートサイトやキャンペーンサイト、LPなど、小規模なサイトで利用するのがいいでしょう。

・CMS選定のポイント

いずれも無料トライアルを利用できるため、まずは管理画面で操作性を確認することがオススメです。基本的には独学で構築することになるため、ヘルプページの充実度合いも要チェックです。

© 2022 Basic inc.

サイトタイプ別 CMSの選び方 ＜10p以下の小規模サイト編＞

		ferret One	Word press	ペライチ	Jimdo	Wix	BiNDup
1	CMS機能	○	○	○	○	○	○
2	フォーム作成	○	○	△	○	○	△
3	リード管理	○	△	×	×	○	△
4	メール配信	○	△	△	×	○	△
5	ステップメール	○	△	△	×	×	×
6	アクセス解析	○	△	△	△	○	△
7	SEO順位チェック	○	×	×	○	×	×
8	ユーザー行動履歴	○	×	×	×	×	×
9	自動バージョン UP	○	×	○	○	○	○
10	テクニカルサポート	○	×	△	△	△	○
11	マーケ施策設計	○	×	×	×	×	×
12	ログイン機能	×	△	×	×	○	×
13	EC機能	×	△	△	○	○	○

※ 関連ツールの連携や、契約プランによって機能利用が可能なものは△としています。

△についての補足情報

Wordpress

- リード管理、メール配信、ステップメール配信、アクセス解析、ログイン機能、 EC機能は、プラグインを利用することで可能

ペライチ

- フォーム作成機能、メール配信機能、ステップメール機能、 EC機能は、契約プランによって利用可能
- ページ作成は最大 10ページまで
- テクニカルサポートは、全国 200名のサポーター主催セミナーやヘルプのみ

Jimdo

- アクセス解析は簡易的なもののみ
- 問い合わせはメールのみ

Wix

- 問い合わせはメールのみ。DIYサービスなので、基本的に個別でのサポート等は行っていない

BiNDup

- フォーム・メールは、連携機能「 SmoothContract」を利用することで可能
- アクセス解析は、連携機能「 SmoothGrow」を利用することで可能
- 問い合わせ内容は、CSVでエクスポートすることで確認可能

© 2020 Basic inc.

【参考資料】CMS機能・サポート比較一覧（各用語説明）

		説明
1	CMS機能	サイト構築・編集機能です。HTML等の専門知識が無くても、効率的にサイトを更新・情報発信することができます。更新できる自由度は各ツールによって異なります。
2	フォーム作成	資料請求などをしてもらうためのフォームを作成する機能です。必須項目・任意項目の切り替え、サンプル文の挿入などを行い、ユーザーの入力負担を減らします。
3	リード管理	問い合わせや資料請求をしたユーザーのデータの管理を行います。 問い合わせ内容のニーズを確認し、想定しているペルソナを獲得できているかを検証しながら、サイトのキャッチコピーやコンテンツの内容を改善します。
4	メール配信	主にメールマガジンを配信する機能です。定期的なコンテンツや、新着情報や期間限定キャンペーン等最新の情報をユーザーに届けることができます。
5	ステップメール	ユーザーのアクションをきっかけに送る複数のメールです。 （例）資料請求をしたユーザー 3日間ステップメールを送る場合は、【 1日目】資料請求御礼メール、【 2日目】関係記事送付、【 3日目】商品情報送付。
6	アクセス解析	webサイトにアクセスしてきたユーザーの属性や行動を分析する機能です。 （例）ユーザーはどこから来たのか、どのページを見たのか等の数値を解析します。アクセス解析をすることで施策の効果測定を行います。
7	SEO順位チェック	狙いたいキーワードを登録すると、自社サイトの順位や他社のサイト一覧（検索上位　10サイト）を、定点的に計測することができる機能です。 順位が低い場合は、コンテンツのリライト等改善に取り組む必要があります。
8	ユーザー行動履歴	1人1人のユーザーがどのページをどれくらい見ていたのかを明らかにする機能です。 ユーザーの興味関心を推測しやすく、次のコンテンツの内容のヒントにすることができます。
9	自動バージョン UP	定期的な機能のバージョンアップデートを手動で行うのか、自動で切り替わるのかどうかを指します。
10	テクニカルサポート	カスタマーサポートデスクの対応の有無です。無い場合は、都度ヘルプページを確認する工数やリサーチをする工数がかかります。
11	マーケ施策設計	「誰に/何を/どのように決めるのか」というマーケティングの基本方針に基づき、取り組むべき　webマーケティングの施策を設計します。
12	ログイン機能	IDとパスワードを設定し、ユーザー認証を行う機能です。特定の人にのみ情報を開示したいときに使います。
13	EC機能	web上で決済できる仕組みです。都度営業担当がやりとりをせずに発注をしてもらえるので、受注業務効率化をすることができます。

© 2020 Basic inc.

BtoBマーケするなら
ferret One

ferret Oneサイトを見る

ferret One 紹介動画を見る

© 2022 Basic inc.